

【2023 年度第 2 四半期決算説明会(機関投資家・アナリスト向け)質疑応答】

実施日:2023 年 9 月 4 日

説明者:代表取締役社長兼 CEO 塚本浩康

上席執行役員活性本部長 丸山泰次

主な質疑応答内容

(全ての質疑応答の内容を記録したものではなく、ご理解いただきやすくするために一部編集を行っております)

Q1

チーズ原料相場の動向が当社 PL に影響するまでのタイムラグはどの程度あるものなのでしょうか？

A1

輸入してから製造・販売のプロセスを経て原料価格の影響が出るまでにはおおよそ 3~4 か月のタイムラグがあります。

Q2

チーズ原料相場の今後の見通しについてどのようにみていますか(為替は除く)？

A2

足元原料相場の上昇は一段落したように思われますが、相場の変動要因として原料の需要・供給動向、例えばオセアニア等の生産地における天候要因や大口ユーザーである中国の経済動向など様々なリスクファクターを見ていく必要があり、今後も引続き相応の備えは必要と考えております。

Q3

ここ数年利益率が低下傾向にありますが、今後利益率向上に向けてどのような対策を講じていく予定でしょうか？

A3

既に取り組んでいる販売価格の改定や生産効率の向上といった基本的な取組みを今後も継続してまいります。また、価格改定についてお客様のご理解・ご支持を得られる様、商品のブランド力・付加価値をより一層高めていく努力が必要と考えております。

Q4

価格改定による物量への影響について「想定ほどの落ち込みがなかった」との説明でしたが、来期に向けて物量はどのように変化するとみているのでしょうか？

A4

これまでの経験則では、価格改定の結果いったん物量が落ち込んでも半年～1年程度で回復しており、今回も同様の傾向ではないかとみておりますが、引き続き注視してまいります。

Q5

将来的な物価高や賃上げを想定した商品の「継続的な値上げ」という可能性はありますか？

A5

価格改定はあくまでも原材料価格の動向で決まるものであり、物価高や賃上げを前提とした「継続的な値上げ」がマーケットに受け入れられるのは容易ではないと考えております。

以 上